眞說明

總退却の敵は

内部は我が戦車隊の蹂躙に委ねられてゐる

に肉薄、敵は陣地を捨てて總退却の兆あり細見部隊戰車○隊は南方より敵の側背をつき南翔市街に突入、【上海九日同盟】今早曉江橋鎭を奪取せる和知、淺間部隊は更に南翔攻撃を開始山内○砲隊の協力の下に並

一門物の一成北川門外 翔方面に迫りつつあり、南翔方面の敵は遂に今朝來退却を開始、目下西北門物の一成北川門外 【上海九日同盟至急報】我が精銀詣都隊は江橋鎮を按くや敗敵を急追して南

「橋鎭を猛砲撃

上海九日同盟」淺間、

|海前線洛陽橋にて同盟特派員九日]和州、後間南部隊第一線の精鋭は八日午後五時半江橋鎭東端に突入、一角半に至り東北角の一端を占領し、同七時に至り完全に占據、更に南翔に向け猛攻撃中海九日同盟][正橋鎖の坚蝸によつて頑強に抵抗する敵に對し和知、淺間兩部隊は八日午後總攻撃を開始、同五

和知南部隊は八日夕刻江橋鎮の一角を占據した、なほ江橋鎭は南翔より蘇州河に結ぶ敵の

前級の中心地江橋濱に対して猛然な「研究を開始、蛇のトーチカは一菱神に最終し旅位表が猛撃に堪へかね陣地を【洛姆橋入日同盟】数日来の預が昭礼上つた八日、我が山内紀長部隊は午前九時上り旅等部隊の保難と呼騰し破

本日午前九時大山大尉の眠る虹橋飛行場を完全ユーメント路即ち牌坊路を南進中の我軍は一県

海の荒鶩活躍

をあくまで

眼上せんと

戰局目記

・時には早くも太原西南方叶

を潰滅す動自動

同盟】 陸軍航空部隊

原の今村、千田南部隊は武

ーン路を八日朝確保した、又皆

【八日】

物御念なれ」と襲弾の雨の現をなしてゐるのを聴 でなく 撮影せしめ、更に 乗員 勝典空中高く吹き上 正確なる紫紫の吸力に御念なれ」と振躍の用 の酸集甲列車を發見こ 調車数百なが蜿蜒と

下重雄(大阪府) 上等長四重賢(長庫 歴) 回佐橋英三郎(大 歴) 同佐橋英三郎(大 £

入その一部を占據し上海包附の入を占據、龍宗湖に據る阪戦に突

佛租界へ逃込む

上海八日間盟】中國赤十半脚倉一町を了した、廊上九日正午上5民ーニー」「コンジピス」 全に数して聴業受勝を通告正式勝

區正式決定 南市避難地

發令

に敷握を見舞ひ何れもこの他は全党監視大戦せし 微原形を止めざるまに で展解、 場場指載の 設

り、我に撮影なし

アテナが同伴者 ペン先は正十四金

¥ 2.00以上

明朗な生活にはいつも



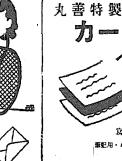




路とによって開まれた

に南市維維地紙とさ

ř.



力一ポン 色彩鮮麗 耐久著火 寫字印字共に明美 **郷紀用・タイプライター用各種** 一見水泉上一

り、プランス和駅に選げ込い、龍雄方面の居住者は雪

MARDNEN MARDNEN MARDNEN ACUARN' MASUARY. ' MASUARN' MASUARN 丸善鉛筆 芯の硬軟適切 運筆至て快調。 製圖用 筆記用 複寫用 朱藍色

東京県 所本 町 二丁目 丸善株式會社京城支店 藤都中國河南三四冊 明藤木原 2 5 元 元 元

は、午前十時半我が軍の完全に出 路より湯松用総路に至る東西の織 遊遊に沿い南下中の我が駿車隊 一軽注昨日来西方に向って退却中上海九日同盟 中山路上を巡杭 (叙より攻撃を開始し、上海方面の) 上海の敵西方 に魔権部隊は破竹の夢をもつて中 か去製第一線部隊は蘇州河の鎌橋 西方部落占據施家衛及び其 豐田紡に進出 南市を完

午前十一時半菱菱川太原院曲城は 本日午前八時半完全に占領せり 【太原九日同盟王意報】〇〇部除

南總督祝電

任法務局長 (三等)

陸政高等官二章

增永正一氏略歷

津浦職海兩線空爆

天地支黄

図暗唱の日達からじ 「隣民語歌」の作曲成る。

には中に入る。

定言なといふべし

の廢撤權 法外治

の大然が定まると

出迎への總督、總監ご問く握手

路內地へ向

行道の歌へ、親へ

たらいかい

|夕刊四頁 いでに脱退通告 の大 マルゼン

> 回轉圓滑・體裁優美 SA型 九株式 ¥ 16.00 A型 玉株式 ¥ 6.50 B型 三株式 Y 4,50



金 具 堅 牢 抜き差し容易

、十二月初め随城の豫定のため十日午後四時十五以(東拓顕紫毗县)崇舫

+

府内は御申附け次第巻上各種海壁に入れます e H-Maljzeh-Mardzeh-Mardzeh-Mardzeh-Mardzeh-Mardzeh-Mardzeh-Mardzeh-Mardzek-Mardzeh-Mardzeh-Mardzeh-Mardzeh-Mar (第四信)・

本社特派員

太原陷洛と三國防共協定を強って

『都京坂では九日歌呼の嵐を呼んで街は日の丸の碇で埋められ、高唱する軍骸どよめさは七十二条府民の一大遭闘な

した、各隊とも午後二時半

一うな高級の叫びがあげられた

韓學洙夫人

の内閣圏埋大師であった名門の前幹が诛氏の祖父は舊韓國政府

マヨネース

東京破 岡 高松函館景

の一周年記念日本近

【上】旗行列に答へる龍山師團の首腦部【下】堂々行進の女學生除

答禮の「紫水川、こ

質単、その他議論集は一般職員と

ほしがるもの **戦線の勇士が**

『佐茶々々……『佐茶々々……

邪戀の人主

累進處遇規則を制定

半島行刑上劃期的の改革

カーヴェン カーヴェン カーヴェン カーヴェン カーヴェン





電柱に衝突大破

在地軍人分會長の説明ある者は終

醫學博士渡邊晋

皮膚泌尿花柳病~





円四仮特 要地大革 ○ 特製防寒器

要が過ぎる。 の特製防寒チョッキ

は全國栗店に首。大阪

海軍進士官以上特製防寒帽

京城府西小門町 丸 糒 院 電話光化門公気を

內服藥 適した内服県です。

関中半額にする事になっ、 入院標は三等又は職職 あれば東原手術料

力税も减免

料入延期も許される

前射機關銃

今晩のラギオ

評判高き著名品

名譽の戦死者

京城地方 (4.65) 城北

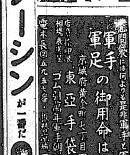
ソ送星 特約店にて御買上げ願う

ロス上ル・横特の動揺式 固直面

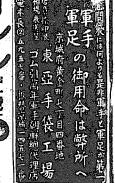
店理代票 前温炭貯駅單市古城競 部炭后店商三



頭





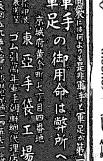






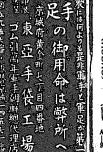
















自丁二通門大南府城京 番〇〇一五局本電表代

であるので全様に探げ、由まる中の部目を立てましてもなり、それ 相してかからわなまる。 度名と相様は変方の図、の上ならば全日の両手向い、終刑の 見名と相様は変方の図。の上ならば全日の両手向い、終刑の にあるので全様に探げ、由まる中でまして其の。 上げまする。未練た者と思召し下 | 天皇の監根から泉水へドブ など語手向いをいたしてまでも引 うございません、今日の場合様ろ一端、ツルりごつて安井御在邸、

郷味方、後に収開いたしました。 屋根の上だから充分の働きは出来

地が廻着した米の大部分で本事情を見ると船腹の不ったるる部が多い▲殊に最

の御暇下し置かれたいと御頭ひ申

をいたせー

上、四何を小雅なことを申すなる様 の命を貢献住る。 る奴、今は据るたし我れる父師 聞へると用すに関策をなるず、 制『汝和復に述びたい、文雅人 辨決党へパッと飛上つて非た。

ふは飾りといへばお僧ない、それ 上ましたに、海塘さ谷れないとい い、見角な卵を呼吸したするまで

たが現在第安井満丘郎、武の兄の

ナヤンチャーッ形くの間打造

村上大助が兄弟で知らて議らず

すり替べられたその罪はございま

お預かりいたして塗りましたもの

か音を討たんとするは情を知らざ

相成りません、例合何でも手前が

するが、只た一目父母に選びた

三十関以上もして居る。 第一子や南景安徽へお手向ひは仕ろり無奈に関係がない。 照一子や南景安徽へお手向ひとはすか一名名信息に関係がない。 照一子とか書のいとはすか一 方が関于に乗ると失認 指者御覧を採の成敗を受ける際にやものでないからこの「サッキオー」 おもった ミュー・

飛驒守殿之を見て、

後、東十字に健康り、殿立高く取

と作式を明ね、手供取って使い

保 龙 槲 :

上げて、同じく松の枝へ懸登つて

知らずばこそ (19)

一龍齋貞丈演

からこの、りません、身に聞えなきこといる

五郎之を見るより、

たい、チャンチャーンと打合合途 トト**つ**上ッ型扇の如くになって遅

惑傾向を嚴成

表 40 未 40 表 40 未 40 小餐しぎ其の一言、ソレ小記者を いきるな! 単っている かんしき いっぱん 切れたるまく いっこう

武藝不思議の上手、松弄助太夫の と私方より打つて掛かるを購上 を もっ 大郷は泉水の周側を取巻いて、 助、積いて泉水へドブーンと飛込 居る内にプクプクと浮かな上つた

六人を打ち倒した、此の続ひに大のか、忽ちの間に刀の背を以て五 大『ウン、経過だがら方々見え申村上大助、 さんぞこ ソレッと小舟を出して見ると水

取立、力は母の極野に似て居るも

と思う船を水門から大川へ漕ぎ川門を打破つて仕舞つてある、似は

東山の所へ塗り、大きた松にボ上 | 朝『後日相分ることだ、方々名観』と後へ引きまする、朝玉郎は壁の | 々上つた網五郎、 して参りますると、遊の水面へ作

へ其の撮影を隠して仕舞つた、直覧の別でこざいます。其の別の中 浦「神奈川十番艦の橋の山田原政ません、漁帰守殿建会に思召し、 ちに人を出して探つて見たが分り き付さるた と其の時分本所添川の河岸は西

根被りましたことゆる「早く彼をの上からパーツと求んだ、大刀を

(九 E) 品件来。

つて、大川からズッと吹へ一ばい

丁、其の阆中の郷天堂の屋根へ松の泉水が汐入りになって居りま

15年 15年

祭の宗来も群易なして、一同ドッ

五郎といる家に兄の安井角太郎と ば曲者らしい、新左復門、早々其 いる奴が居る由、是れが今時へ

演算見苦しいぞ!

照「當宗に安井網五郎如き者を打

みに相成つて、

打つて落せ』と殴ばお榛側へお進

って落す者はないか、切捨てい、

の機を見たが、「新子心得て候」「一句を見たが、「一句を見たが、」「一句を見たが、「一句を見たが、」「一句を見たが、「一句を見たが、」「一句を見たが、「一句を見たが、」「一句を見たが、「一句を見たが、」

村上新左衛門が命を選っこれにな 奈川十番艦の橋の山田配成五郎方と茲で組子二十人を逃れて、神

大『御前お製変ひ遊ばすな、安井此の體を見たが、 網五郎の首は我か学の中にあり出

大「御仰せにたみなべき」

授敬學太國帝京東

要と明日の準備に兵器讀本を!だ。兵器の進歩に限りがなく、昨た。兵器の進歩に限りがなく、昨た。兵器の進歩に限りがなく、昨 推し進めるのは兵器だ助を保障し正義の戰を るのだ。物理學や化學を知らなくとも本書を答だけれざも説き方一つで自由い程解りもすらぬ人の「が多い。科學の粹と云へば難解のらぬ人はない。ところがその原理になると知らぬ人はない。ところがその原理になると知

敗の機は兵器 ある

帝國海軍の偉力で帰るというでは、一世界の驚異日本のでは堅いの 秋何 つでも多くの人 に必讀 處に あるか、 てこそ銃後 か、戦勝力と本領を本の誇り 海 のです! 軍讀

圖全00三個圖面加型上刊東 **钱十八**圓一價定 錢 五十八月

が國

高圖百0二四製上判束 **钱**十五圓一價定

治 吉 為 克 人行教政報题 介之三川小 人 斯 伊 京奶饼厂 聖事校 (制練院前)



運報月酬型





の財地東カラログ、御・取次第表代第2日 石・社製ラチ・八一男人に男台。組一を埋 高・級ラチ・八・井・用着芸芸名組を埋 京城駅前 **丹벦八極奇い** 明堂



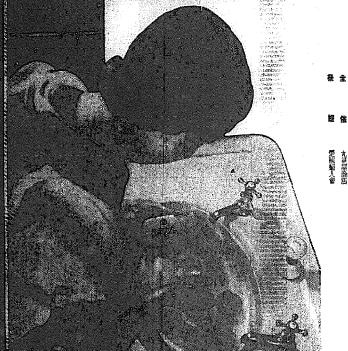


蒸汽原動機及內燃機 様材料A工作法 100種類の福音! -80 2.50 1.60

沙 定 展 料

季D 城 5 芨 店 目丁二通門大南 市阪大 ø 店本

圖萬拾貳百七億壹金本資



真軍將士人送る慰問作品募集! 摺 資

十二月二十五日 松井中佐。松島中佐、 作文(綴方) 嵌路•詩

東京市日本社品体域

凡を三百所名

ワ ϵ_{J} . 芳 作 d 香 用。 最 高 P 12 0 石能の保護

J ツ でと様人が純めていますの方はなくは

店 商 屋 見 丸 🔘 國兩・京東 鑓本鹼石ワツミ

松江を占領

【上海九日同盟】我が上陸部隊は九日午

後松江を占領した

取残兵の掃蕩開始

一寶鎭占領

敞陣潰亂 重要機關⇒逃亡 敗 走兵暴行 後七時十五分遂に我が和知、後間兩部隊の占る、即ち敵の重要據點たりし虹橋鎮も八日午る、即ち敵の重要據點たりし虹橋鎮も八日午後々も 脹ひはじめ、外國人達も 大喜びで あ果は第を繁大い上海には早くも明朗色濃くなり 一海淨化の聖業刻々成る

記事形行場を上は、 とと據した、同時に南市の最新記事を

田上、川並各国隊の先鋒は龍華飛行場

領も時間の問題と見られ

を占據した、同時に南市の最南端にある上海第一の名利龍華寺の塔高 フランス租界

【上海九日同盟】九日午後四時五十分石井、

【上海九日同盟】午後三時龍華の松滬整備司令部に日章旗録へる

行ってあるので、阿本、原本南雲兵脈は住民の造亡によって蟒地と化した該地の治安維持に貧つてゐる

市の市街には各所に日章旗が飜へつてゐる

我憲兵隊で治安維持(南市九日南盟)を那軍は南市航空に際、報報刑行場內断層その他各地に地省火を敷設するなど我軍の適用限止工作を

並目主に対しています。 四時之を完全に占據、茲に大上海陸上よりの交通遮断を完成した、在25年、田上朝廷官主には、 11年代、福和九日前一個経過最新正統隊は九日全後等時立十分問題派隊の戦車〇〇台を美頭に龍華銭に突入午後

斉襲戦 術偉効を奏す

上、川並各部隊の一部は歩武堂々南市に入城、

支那膺懲愈よ本格的 上海孤立の日―陸軍當局談

段戦ついき

大抽

付念記

a u

法

|月三十||日まで

整 整 速 者

本府轄令(航世)

1

郝縣を占領す 部隊猛進

つある我が〇〇部隊は、七日午後

南方の山地の敵を進撃中である

多数の武器 を鹵獲す

死にもの狂ひで抵抗の敗殘兵

上海九日同盟」支那軍煙酸は虹」れこんだが、これら支那兵は何れ

佛和界にも初れ込む

もフランスの警衞兵、憲兵、警官

南北兩軍の

在抗を強けつくあるが、我軍は

場案せる各種地より信息教物 の手で**武装を解除されたが**戦態会

の観を突後して批学に登到した

粉水が胸を与ってフランス種

輝く日章旗:搖ぐ萬歲

國家總動員訓令

きのふ決定直もに發令

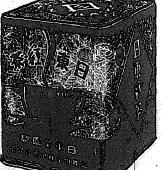
特派員など大原族内に降る九日早時の我が果敢な欺難に告一完全に我が手中に踏し

石家莊にて松田

陸上前敵隊部銳新

海の新事態

各國領事團會議







四等

婦人用高級パジャー特製作粧品箱

多壓絹大島一反

展地一着分別人

貳百名

沉百名

1 2 封度-(赤艦) --〇·五〇銭 --〇·五〇銭















壮烈護國で鬼となつ

わが戦友の奮戦記

小林部隊 (當時南雲部隊) 馬場大尉手記

一般開無念にも上等兵の頭部を貫通 「武士な人職は志信地を中心とする」を招きたり、然れども職を道撃中一架の態象に、作りき、行害 暗近を

では文字其のものの如くなの像訳は文字其のものの別別問題にて死傷慣出取場的の側別機能直撃砲等は文字道

動作は親の模範とするに十分だり

小除が実験連備を完

しめたり、其の機械果敢なる

めつた。 耽废も、 破皮支那も、 南

上羽成之伍長

激消も、特た又ジベリ

徳川三百年の鎖図の森を切って

も、悪く職来の掌中のものとな

右は照型軍背里

其の任を完ちせり。下に於て征々志氣旺盛率先して 上等長)は此等困難なる状況のの支頭を加へたり、伍長(當時租候もて我が戦力の豪揮に多大

北支の華、雄國の鬼と化した 之全 く上等兵の平曜に京

原刑事機の部頭は帝國をして國

の出現によって愈々輝やかしき 國際的動向を判然たらしめ、

したものである。斯の如うは一朝 夕の解決を期待すべきでなく 時に、その瞬向を明確するに王

#道報師を子内に首布するの聖泰 つた味方の歌観の次の練攻戦に備し野歌するの裏があり、これこと、方面のOC部隊は歌く一直線にな 常るの大型であることを明らか「裏の歌歌に車を走らせた、劉口俊 上海新戦場を見る

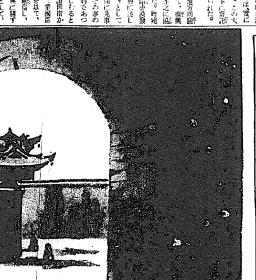
の時に方つて日瀬伊防洪龍定の 立を見るに至ったことは、関係

日を迎へ、再語言語、更に

チャハルと山西は種々の織物が無路蔵に埋れて (其) 石 炭

百斤二十銭(一瀬中間)という支債で如何に石炭が豊富であるかり寛はれる。つて、或ひは闘馬に付け或ひは魔に荷つて町に釣りに來る。

選かなりしことをく
評議的であっ 灰磡の開から御起して、



世界大戦に参数して、完全に一等

の地歩への第一歩を進めた。次で だに基轄主義破して、國際的對等 日本の遺談、新文化の消化に勢一数に在りき、行宮沿近を占領せる。力を以て蘇州橋の重要部に向ふこ

して、澤に不遜傲慢の清國を精一醛は臨高地を中心とする相當堅固

教育と相僚ちて孤陽に抵抗せり

概義が側面に対し戦び來る敵烈三に排除し折撃解闘銃の故策を迅速に排除し折と入なるや伍長は乾隆間に生ぜし

ミ忠気旺盛富に中先垂範其の任意困難なる釈況の下に於ても最

伍長 當時上等共 は此

行動は絵葉の不足地形は錦籠と「へて之を設定せしめ全電戦捷の途」なる「部を行言的近に ありて防

戦と相俟ちて麓に多大の振悦を興

共間の射撃と小銃手の壯烈なる突

戦闘に参加す、常時戦は其の主力 附近の戦闘に於て電色隊にありて 日河北省行宮(南極南方約四杯)

を南苑(北京南方戦十杯)に育力

北支戦線スケツチ

15

道

黎

りて敵情の監視小隊長との連絡がに終了は極端が、 は、落間瀬守り、 伍長は戦闘初 をは、落間瀬守り、 伍長は戦闘初

經審關錠を執り其の任務を擁行一等兵益罪のため関るゝや率先に任じありしが、射手たる確本

突如右後方より蘇邦三百の道機を

部の態度に出で、常に腸陥手段を一粒(北京南方粒十年)に有力たる

2た0 その掘日本に對し、監機不

一時来の勢力に繋破され始めて一附近の瞬間に於いて前部隊は戦闘

に参加す、常時顧は其の主力を南 | や位長は小木谷の際長道郷の下に 一部を行宮附近に在りて暗觀の底一种法成に貢献せり、〇脈か其の主

日限上等兵を補佐し経班分縁の任

松下良雄伍長

呼地の左裂を包御攻撃するに下る

(七月三十一日) 数日米の連続せら不休で取りてが、後年的結婚の姿態にして選に率し、質に直視す、一番にと続せらい、人の難踏として登録すべきたり、数日米の連続せら、本日として登録するとは、はせり、當日に突続時無無に、しての選挙という。

抗せり、當日は天族暗朗無風にし たら抗日教育と相俟つて頑強に抵

りしも、位長は異然として娘の 智序連んを楽のご之を細彫し其 の難事地を楽のご之を細彫し其 の選手地では、一種に教師に突入し呼み他に 湾手でととするや思念にも顧問 は頭羽其他に命中して再び立つ は頭羽其他に命中して再び立つ

数日來の連續せる不休不眠の行動

殊に ○際の一部を以下職

酸像と糊へてゐたが、もう

日本の田舎で山から新を切つて町に費りに來るやうに、大同では近くの山から石炭を掘

5、より適步的な「座金令」を施

する送電網が不完備である點に液 行、半島鐵業県の清掃をほかると ての準備中であるが、今度本府で J併行して韓山地帯への送電網を てもに積極的に産金美職を行ふべ 間に上る産金計選を握て着々 來年度から五ヶ年計畫で約三

概充する事となり、その建設計助 代資草五千萬間を來議官に提出す は朝鮮が電力割高のため通出を踏 信託並に東拓が増加せる全部微少

◆……預金

信金貯費 特

七萬一千四 佐田十二億八千七百 住田縣民は預金六億八千五百八十 全鮮各金融機関の九月末現在預金 東拓の下期業績

貸出は大膨脹 預金は少減の傾向

平地宣川宣

関八十九錢也 四萬七百十九 總計金十一萬四 百九十六四九十

華手形交換所調査、十月中の京成手形交換所調査、十月中の

八階重の重策へ――最後まで脳の一般け 帯らた残骸から、轍路橋間の 放コソクリートの職員が頑張ったとこ 戦らたるかなと三城する、北站の

があげて見せるモ」と元製服業。 土部で鬼軍の手によって殿部されてある。十段、二十一分らない質感で、また了(と駆き連貫ので見せるモ」と元製服業。 土部で鬼軍の手によって殿部されてある。十段、二十一分らない質感で、また了(と駆き連行連れた眩暈長が、幸中各所で、支部で鬼軍の手によって殿部され、つた、高落はいつの間にかトーチーそれ時が目で見たものでなければ

これ等の堅同な関地を突破したからわが除軍の勝兵がいかに勇敢に

その場で現と使くした

た戦争は同じやうに獲けられてる

の離兵が、武装を解除されてわが

麗茹についたい事和であつた時に と振られてゐる。次の部落も言う

れ、地下道は一戦から大の一戦へ一わが日童跡が譲つたところだ、そにも、内側にも土壌を積み上げら「眞流無電臺は云る市七日、遠早く

の「たちば、相も受らずその急速の短、単た、動脈に整ふことなく第一級の勇士 にっこうこから教分、もう性子の削級にのうこからところに、そう

ないまではボッリー(と海軍は上には、いまではボッリー(と海軍を頭の上に見た質時の最初によっている。いつか転割内で呼方

整理されてゐる、二百人、三百人 に慰難してゐるやうだ

要け小院は一時館院に置せり、伍一をそのま、院室選集をせとして五日(んず号原子さん、佐藤道子さん達楽却有後方より総称三百の道像を一黙神費として書た四十五間十一後、半生日仲善和子さん、加賀任基さっそれが入入日本社へ寄託した 産金獎勵ご併行し 先づ送電網を充實 | 朝鮮通出に指すをかけるものと見しり可成りの物収が見込まれるが、 てある。「慰療がわか空壁によって」とすくり込んで行った「頭をおげ」のことだと思ふと慰覚無ない難見嫌いの製造所が半道になって残っ、部僚の授兵隊の中に保は退ひたが、問和七年の上海洋要以来五年半前 である。此間にも敵の遺しると危ないぞ!ユーຮ療がわが空襲によつて「チーくー」・・・・ 消防組や學童達 五千萬園を火業は會に明年度豫算火業は ル月末全金融機關の大勢 関)各種別に見れば左の如し(單位千 國防に思ひを寄す の年級は躍進期鮮の生きた縮園であり、また経好の指針であるばかりでなく、 朝鮮に住む者、朝鮮で番楽を養む者、朝鮮にて冷動する者、その他朝鮮を充分知らんとする非理義行の昭和十二年賦「朝鮮年忠」は意義田米深晴らしい新鮮を基し、非常時局に直命 い各地の支局又は京城はじめ全解各地の本紙暗観店に御申込み下さるやらお頼い私します。 にとつて絶對に必要なこの前標年盛として表がやうな優れ行きです。お蔭で養賢以来わつかに ケ月にして既に本社直致の分は質切れとなりました、今後の購入卸希望の方は、 部圓干價 支局並に販賣店にあります 第五子 加聚金素 中村貞子 佐和子 加聚金素 中村貞子 佐和子 加聚金素 中村貞子 佐 电话南流铁舱那镇岩里 电话南流铁舱那镇岩里 川小學校 第三學年一間七十八錢 平 朝鮮防空器材献金 本社直質の分は賣り切 本社寄託金(八日版 的に活用し中小湾船舶の建造。西山の西族造船所の設開能力を能換 朝鮮重工業では今夏利立以来 り本格的事業の開始に入り工程を 八百餘頁 一圓廿錢 朝鮮重工が計量

3いふ犯罪は審實相異の旨、鬼淫日職の罪山質攻近く返可を申請E 取消 - 去月二十六日付 本紙に











食慾促 進 B

を與へて新しい食物に對する要求を影響させることになるのです。中に停滯して居る常で長漢の排泄を延らせます。その結果、作流域東に停滯して居る常で長漢の排泄を延らせます。その結果、作流域衰べさせます、食物の消化を鈍らせ、又、大腸を弛減させて、その飲乏は、先づ胃液の分泌を減じて食感をの別名があるほどで、その飲乏は、先づ胃液の分泌を減じて食感をの別名があるほどで、その飲乏は、先づ胃液の分泌を減じて食感をの別名があるほどで、その飲乏は、先づ胃液の分泌を減じて食感を 骨があるもので、就中ヴィタミンB複合體は食慾促進ヴィタミンという。 も、ヴィタミンの過不足と非常に密接な励 食慾の減退は病弱者でも又健康者にありて

母を この食欲促進ヴィタミンBは、あらゆる自

最も新らしい居ります。今 微量です。 の酵母には、 者にも健康者にも食慾増進の目的に旺んに用ひられて居ります。 い葉套學上の常識とさへなつて居ります。麥酒酵母以外 是然不振の病人に對し、変酒酵母を與へることは、今日 この食慾促進ヴィタミンは含まれないか、或は何めて …エビオス錠は日本に於ける代表的な変酒解けて病暑





飲かさないやう

△

所な人々でも食慾が進まねことや體力が低下して居ることを示すもは動に戦快に向ふこと気なしであるからです。病人だけでなく、健は動に戦快に向ふこと気なしであるからです。病人だけでなく、健は紫裳物の吸收も良く ょり、病氣に戮する抵抗力も強くなり、病症 ので、『食慾不振』は健康上の危險信號とすら言はれるほどです。 食 然 病氣をして、食然の衰へることほど心細い ろくしと頭をしぼられるものです。病人に食慾 ものはありません。醫家はこの食慾をとり

大 國 审 章 医 题 经 同 章 医 审 日 本 题 医 本 同

大日 本婆 酒株式 會社 供送 日本 沙河 株式 自 工 医 過元三點 南店

異類 學學





記 豪飯家脚



、未實験者は速に之を使

水科専門醫によて 賞用さ

に認識を高め、 現在にて

断なく殺菌深速作用を特績する

るウラルゴールの新發明價値にて、され他の內服藥、或は銀劑溶液等の注入薬・

便 定 一点 :: - | | | | - | | | | - | | | |



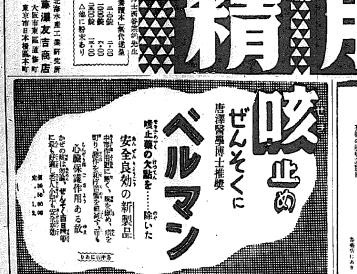
十五日は七五三祝ひ

。お嬢様のお化粧

週間を過ぎたる時は、 亜急性より次第に慢性症となり、 患者

A 容

明特許 油精 劑



につねせか。見い ◇オイン……は愛見を守る常伽楽 ◇オイン……は変見を守る常伽楽 ※熱を下げ

腸

感" 御" 注: V 意。 !!

@ 平 丹 Ħ 畲 商

東えて下さい 東えて下さい 東えて下さい

見程

値は下る、加工設備は不足

弱りぬく業者達

版、食料油、玉鳳茶輪煙、般、 田色テープ、文化ロープ、柳不 板類、漆器、監線江筏和工 優、 板類、漆器、監線江筏和工 優、

等の平北特遣を勝列しこれが紹介

天時局の認識を 徹底させる妙案 尹京畿道産業部長を迎く

、大要左の如く各自

開城で座談會開入

涿洲や裏日本にも呼びかけ

の實現

咸興商議が力强い第一步

穀物檢査取締り

裁判長の和解勸告を無視し 北長老派がん張る

も限ら四域は海港に面した方に明漢するから経合と見観るに明漢するから経合と見観ると

清南學校に對し

年同日に比し六十七萬六千九百八

一浦、適湖に次ぐ大量水揚げのある たい関係からこの開催で最低計算

燈台ご間違へて思はず慄然

化させる計畫である

てんでなつてない゛海の道徳、

してこれに油を貯蔵して急場

ルデ五倍

化學工業の原料材ごして

平北で積極的増産

内船長の観た港清津

所州】柴町普通B校開校二十周

卅年記念式

賢都面の强盗

上 に 世のは似を訳述した 金雅 世の 世のは似を訳述した 金雅 世の は似を訳述した 金雅

かり服へられて配るで 天物に掘り除けて貰っ

ある。同じ材に

は一般のでは、現代のでは、は、一般のでは、現代の

会はまで、野に十代一

前けて来た索封書



忠北で馬娘査

州萬石の排泄物

天狗の一本杉

部群汽船出帆廣告

三ケ所に九萬石の糞池新設

釜山府成案を急ぐ

廣州 郡では七日から十三日

寒村に傳はる

本杉と

國民精神作興

型面共に大量となってをり、問題

職行事を徹底的に質加させるため

豕傳仙酒の霊能

現代の科學でも解らない

奇蹟が確にある

此 の紫の門服に一起の若松 掘めてより

来る人が地えないので、年本英の 山坂を越えて賞ひに

の ● 胃腸 衰弱の人 ● 弱 を弱の人 ●强騰躁精の目的

案內所

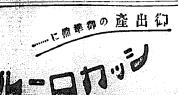
四がへ知れ貼り、二十里からが、一般など、一般など、一般など、一般など、一般など、一般を一般を一般を一般を表します。一般を一般を表します。

強整理計画として

忠北のお達し

廣州西部普

つた時など、折々此の河穴で雨を



莱界最古の白井

半島制覇を目指し一路邁進

投資家の絕對的信用を確保し、歐紫龍に出版なる是畿の下に前海、精通を 種類に於て大阪、東京に次ぐして、大阪はれてゐる、大阪も年 作ふ、朝鮮の證券界である、朝鮮の政策取引は、中の活演とに於て、又重及び 朝鮮遺参界を代表する存在である。今時時時期 である京城株式現物取引印度の間設以來、唐是、堅實主義の一貫により半 した、内地企業家はこと、二、原軍以來投資を行って、半島は今や一時代を置するに到った。 戦時體制下にある。年島の産業港議界は活躍な難ぎを見せ、殊に朝鮮産業界の将來性に落日 これにも争して東京の部門を浴びてゐるのは、我が半島財界の膨張の發展に つstreinの朝鮮取引所證券取引員自排友之助衙店こそは實に 現在の朝鮮取引所の前身



業方針は報恩の誠

基礎を鞏め躍進 白井氏の快腕に今日の隆盛

採算を要外した実展が相場を現出 することがあることに表能し

の間の事情に精進し古内の完殖せ 質均部、金融部、製作用の丘機器 | 卸工数量前自井氏が多りの機位を | 路で起非で五十分、背面の用で る調査と租赁つて、一般取引者へ 「坂二於て水草斯楽に能事し、こ 対近に於て安全に一家を駆げて 教々の念題である、然るに京映 自

闘する一切あらゆる薬剤を摂難し 素人碗の動態を受け

に製み得られたい変だ。僅かに米一三丁目山基自動車部からは一旦二一進を開 議官の「都會を逃れ、「廟三日の献」である、夏は原風補を葬び、執け この行業を求めることに、あまり|城から敦智里まで京電バス(織路) 往後パンガロー村入口まで一京の一葉の形態を題み、た 々の風傷を持つ此パンガロー 瀬目の野景県に酒を汲む、四年近 紅薬の錦織りなし、冬に温空上り



都部の到る魔工の交通機構の慰恵

に抽かしめてゐた、然るに政府は 目動車の大部分は指外國にその概 | 過去に於ては同 版、関連版、天竺寺、雅楽寺等の 寺、牛耳織、玉鹇、牛耳岩、百蒜の水流を掘へ、景趣に富み、進蔵

のあり、 國産品使用機關を通牒し極力これ に全力を傾注し、番に政府が中心 特に列展の経済的緊迫は 對成して國産品の基準

、補助金(二台つき二千個)を変

關産 自動車會社

陸軍保護車『ちよだ』。すみだ号いすい

國車の防港に乗出すに至った、

事質局健康のすとに関係國産自動

極大の援助をなされたものである

2双手を上げてこれに特質を表し

護六輪車の大量輸送車に全力を預



歌時階級下に於ける我國の産業、 | 遼蓬に多大の援助を異へ、輸入外 | 軍の積極的進展により、興奮歌は

概での他を仰ぎ、外國品に非らざ」に押され、許及せて催失的誰を重

んか爲め本年中に五千四百萬圓の 國策の大方針に則り、萬金を期せ 即氏。 問情蒙測長大久保正 ... 氏同 朝鮮國產自動車

る自動車での他之に耐闘する一切 京自動車工業株式會社の製造に係 朝鮮國產自動軍株式在社は前距東

(1)更に昭和五年十月査本を増加し むるに到った、複数と年来のゴー て株式食削に組織を製へ閲覧を以 定め、全計員は定時より二十分早 社では社博を奉誓、日々自ら之れ 2000

府を始め越信、聖寶、繳道、全鮮 長の一段手、一段星の如く活動し

その重なる納人先きだけでも、

載く耐跳となってゐる、氏が如何 に耐負に對し物研的訓練を行って 調話 があつて各自の支砂に

描にる御同情御庇護の査である 氏は常に應躍し、店員或は外布

人々に戒めとし、報恩の妻

「来るのは、厦へに御詩節様の

と氏の深慮によったもので、

出言為大瀬に呼びかけてゐる。 | 會を創立しを鮮の各種表案の原始 | 本家を自五十萬間に大権策に

弘中社長の人格は今の隆盛

英漢者干敷百ヶ所に及び河倉社の

で防力の光質は高に低頭 編 | 指導と相似って異数に関連と見つ | 品中・影響品は全種各地に

的操業の機械化を力能し、首局の「も以中商工株式会社と砂構」

・ 重要等的事業を持し共存共業の信/セキ計車総振動としたものであるよあり、氏は傾向なる場合に於て/を設置してこれに常置し、物類品

を幸め 日々旅路の城にと

混乱の業界を切り抜け得 白井氏自身の手腕にも

斯くの如き雅羅

實に標準方針は、益々とこ

は其人であったが、自井 /市場に勿論仲買人の霊

調明であった場に、一番事

國家的共在共榮主計則に

國策的事業に傾注

2のとして、仁川取引所との合

り、加ふるに今次支那事變により

今中の工作進は朝鮮

4-10 での現場に全力を探討し、現在の弘中商工株式舎社の無殿を他各種産業の現場に全力を探討し、現在の弘中商工株式舎社の無殿を自れてある。これに

|一目聴然である。その事業の大略 れば、その周階の人物から見れば 愛電水力の開發促進 工業の誘導

た為め、その事業は厳酷に続き、

と現故して以來本府は織打査庫、の為めには、生産力の骨温にあり

意動で、今日の風跡を完成す 併進政策がある、即ち南港督

半島は今の戦時領域下にあ

来多年の功労に融いる旨の故に際し、京阪市場よりに

状にあり、國民の臨力・一致順結「る民間施設とも様すべきである、協議は日と共に、惡化するの。現」これは南穂者の施政方針に合致す

しかして社長以中良一氏は既に半

以等々の諸機械並に附屬工具

水利、

内容、各種事業の消長、酸銀市場 調査部の 陣容益々整備 一般党調をを行ひ使って投資が、その他一般財産の事情に

物の恐怖に就いて、或は各種服务 では一般の登場に供するため毎

養養して回答してゐる、何は同歌

林氏今日の大をなす!

一緒に外ならぬものである 精び自然の解散を味いのにこの仙 丁烷) 日型四層室

統在してある

ールあり数戸のパンガロ

ンガー

「観光にの樹木に触れた薬庫」にもつて来いの鬼である。

料。丁、牛耳椒の中腹卵

國策に順應して設立された

『一诗(一数女三曜) 二通流流で、二英の影散、一英では「東の影散、一英では

立して新町で精末業を開業したがだ。大いで罹煙を開業する **旋蝉線一度から町き上げご光づ獨**

て都様を買取して最初別録人を下 人間き天に内地人企器いて夜花は く願いて昭和六年にはて五

二手間の借金は父の進竜として若

い氏が背負はされた。然しらけなであり又遊帰組合の制収締



整理を始める一方、呼べ権と表と、努力の結構が現はれたもので、無の氏は大正十年から一切の貢献。目の大をなした裏面には血・

ることによつても同社の関節的設 既され一般の巫術を祈たにした 府でもこれに援助し既二内を高長 あつて、朝鮮への吾及…県軍の 製(下)中

北百萬風の本邦自動車界に於ける 歴史は輝く五十餘年 京城商工會議

一を難し政治、文教、交通、文化の 虚都市乃至供給都市としての使命 都としての京城に今や自然の人口

> 正、開税の整備「輸道の水設促進等 四月京城日本人商等會議所上改構

後在住民の増加と共に明治十五年。要求権、經費賦職権の一

牛島商工業界の躍進に努力

業の中域となり指導は砂腸・京姓 た明難に体火なものかもる

てある塵である。氏がこの大事業」であってころ、生活が駐職しなっ く出動すると定期先づ一回社碑を 興つて大なるものがある、現に国 | 如く漢善をこれことよし排他的社 倉風湖景浦した今日この一語こそ

の中にも開如たるものがあり、 で高端なる氏の人権の一片が定駄 盆の何分の何處と明記してある。 によつて云ひ虚し得らと思ふ、こ

十萬間(全額排込)を以つて姉妹 本事業一

血液に綴られた半 - 勝來を助從される氏の快腕

理事一名、悉記十一名、平極 の援助、商工業程を指導管標で

會を組織したのに影響とし、エの一能としては建議権、調査資料提供 **疆定、竣过窑託商品見车、货格** 横萬千一萬產年 四萬千三金本資 所張出 鲜朝 社會式株油醫苗野

時から南機会、大野政務總一更に一天塩融下萬城を三唱して大一ある、前は同日は夏己認苦あらゆ 神作東に関する証明があり、名図 団の郎演式を集げて、これに相関 インプレンペン 原語 (日本) 「神経行の語音楽館、園民権 「海洋」、語書を李潔し東に魏者な | 本別籍を観び飲食の奉任と時間に しい川店をなして式を終るはずで

至鮮擧げて克己質質に

して先つ関歌合唱のうちに関 | 工事。各種版版。和落などもこの十 | 一緒を期せしめ出動真室暗具の姿

「先づ日本の認識が第一」と レーモン氏から書翰

絶督聲明を發す

航消運動を行ってゐたが、この

秋太郎(釜山)上等兵省田游建 計香西谈夫(大邱)上等兵須智

に依ると、昨年十月平均カフエー「百七圓、內外酒店五百八圓、底酒二 解火管側はネオノ街にどう繋く? | 三千五百五十六間、東陸九百十二

京釜、京義兩線に

超重機關車

暴落別に 佩路駅保安保の 調査 □、『茶店六百廿間、立飲み最五

ネオンに何う響く

去年に比べて約四割方少い

名譽の戰死者

韶書奉讀式

伊勢神宮皇居遜拜 針する認識を新にする施設措置に よつて益々日本の関力、我乱軍の

那民有志一同が高州東神殿院外兵 正版制、一方京機道長温郡では

六十五段を戦絶、かくて半島財政。|は経念であるがせめて之を軍の方 戦地にも行けずにこのまく死ぬの時間に 託して死んで行ったので同君の父 に脱金してほしい」と全五十四を

機關銃の献納熱 随所に揚る 忠北では十五台分を

総役の熟認が祭を始めてゐる思問「三高城亦傳與統十五萬分として金統の熟認が祭を始めてゐる思問「三高城亦傳與統十五萬分として金統 今賦件び軍事決接聯盟の名稱「納した、夏に釜山第二公立逐常小「黙信局主路線越野、後衛投楊市特」金五十間を戦金した

病床から遺言 勇士献金美談

詔書學發記念日

晉 聲明朗

後六時二五分 大野政務總統 ラ ヂ オ

丸坊主でなければ

學生斷髮令の波紋

卒業生も採用せぬ

語官廳では長髪御免

めると同時に勇坐らしい質度聴家一番目を期して全群各官公忍立恵門 の本旨をより徹底する意味から図 京城大路瓊科生徒の長髪が聴える。民籍神作展透明中の第二日生活政

●校以上の基生生徒の**研究**令が事

言ふのである。 た。如何に在駆雷時の成績が向をボイコットする事になって來

件ぶ景鷸はやはり建想通り司法人 ◇京城地方法院長から法師司高等法院是発井暇太郎氏の郷去に られる、これからの郷法は

| ○先づ法が高星から企業法院標準 | 人といっよりも温度広患者の窓下でする人 | 人といっよりも温度広患者の窓下には

としての最高の椅子ごうに暴動が一張轉した宮本元氏は最めしい司法

長に韓した神永正一氏に「岩自田」司法の能命も一段重大でありました。

せずに直立不動の姿勢で記者を睨

合に接しないからいへない」これからの抱負はあるが正式

跳を思へば生命ありてこの日を 直丁限と共に大きなセソセイショーに通過される事になった、サア大 |同時に世間の話題として學生を見||配局との相談の結果全群の間官職

る日章旗仰ぎ

現の下に手を振り相振して立 動は歌時無分を反映して徹底化さ一述ひない。しかも問題は官職から

卒業後は問はぬ

るものがあつた、天然の縦鏡を掘一つて苦晩暗聴、思へば幾日歌謎に「文字道り路を乗り終えて來た瓶酢漢大か太原想に暫し殺として胸道| 揺つたやうに抵抗・緩介た離に向一の際前を味はなかった晩友幾何

京城府民の祝意

報いられた死闘の跡

て泣く將兵

以城府沙宛左の如き側電が うではないか、明春からの新一洋式体院を現したが、この新藤院つてゐる時が最も美しく見え. 洋式体院を現したが、この新藤院生は墨生らしい質賞な生活を | 東坡西大門の一角に堂々四宗の東 本府學務當局の談

た、遂にこの光環ある歴史的

の感覚の瞬間まで苦酸の市街域

な占領を行つたこの時、山西攻略 定する確を担び、これを確認是令 変ったのであった、南門から

第記数に多大の即然告に針 る忠烈と多大の即然告に針 る忠烈と多大の即然告に針

本のでに続いず、本日に変現の石に繋へず、本日になり東州が日本の出りに対し、 で、原格等系質域作列を設定するにはりませが、 と多大の御券告に対し、 での個券告に対し、 での出りに対し、 での出り、 での出り、 での出り、 での出り、 での出り、 での出り、 での出り、 でのまり、 をのまり、 をのり、 をのまり、 をのり、 をのまり、 をのまり、 をのまり、 をのまり、 をのまり、 をのまり、 をのまり、 をのまり、 をのまり、 をのま

現地首脳部に打電

府尹に謝電

朝鮮實情紹介 東京の三越で

娑婆に四日 失義者に闘すされた田台青年が撤。 泣き込んだもので、 通路署では同

会と催し

て異れるものはなく備かばかりの。京城に田で來たが、滌も相手にし

~ 零星型

果と西と同時に 區劃整理を認可

唯山

釟

1i

川

羅丁二分病院

院院京福油市軍

教岩町 三大峴町一

た敦岩土地展別然理の実施計量は 女學生逃避行 京城軍

二十十四月日 二十二月(月)日 二十二月(月)日 二十七月(八)田 (第)四十前午)

沙墨四里 梁

度一杯で京釜、 道局では上華

つ四幅を製作することになった、一あるデカボット権より適に臨力な

マウンテンな

の概念成、意よ明年度中に二幅づ一一方貨物用機関車は漸緩が誇つて、機関車の設計を進めてゐたが、こ一々百キロを突破する快速を出し、

物の設計になる常重と領重の超重」在より三個多く十三個を用張り悠逸能力の増大を開るため、蜂樂獨一飛搬とも名づけられ、窓引力も現

改良工事も完成するので、一部権一部機の更に強大なもの、超重。

輸送阿强化に四輛

投版多面計剛單複其

國

胎品供試第次呈越申御入記名開新此

特別等內 大 猫 実施1599 か で こうである (4 大 猫 実施1599 か のに逆す 保井町三九の のに逆す 保井町三九の のに逆す 保井町三九の のに逆す 保井町三九の (4 大 が とうじょうがん はんしょう はんしょく はんしょう はんしょう はんしょ はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ

謹嚴の檢事長と 温厚の法務局長

康法 務 所律 八 大学ストーフ 東部にカリニム会談園と所付火 東部にカリニム会談園と所付火 「大学ストーフ 大学ストーフ 大学ストーフ 大学ストーフ 大学ストーフ

却

芥間水虫・股間 いんき

E 追 Ø あ

揚水ボンブ

四年一位の質を築げて激起せる半一からつた でしむべくその第一方職として近一説説後の赤謎を内地各方面に認識 府では今次事類を駆機として

会示する**脚跳會、映画會をの他** 一次三朝不信において内鮮一位

、朝と皇居を治

けみ、午前十時を忘れずに

これは加何にも識骸度道一點。た同法院のタイピスト

発

けふの天気

各種の個しを行ふこととなり、過一百九十九回であったが、今年の中

| 職大野 「いづれも重定当二十世を」で明年度来までに被工させ「駐傭」

刑務所へでもご志願

思さず、一川 も早く概にれ程の構みはない。

●性病に

特候難りにはかに想にすぐ得往となり出 命生谷板

高の高見別目(のの生ま) ・電温本で飲みするが、本 ・電温本で飲みするが、本 ・電温本で飲みするが、本 ・電温本で飲みするが、本 東部・ケラー しつれよの東京支部へ京城日報顧書 開東大浦日度電影候職 本 物 病 專門 [1] お茶は土見精元日

里・御精命

外交響に言時間品

橋本日 京東

聘招長所張出 店支鮮朝 太五、三町食永府以長

